

No.	場面	
一般 CT	場面 01	管球の位置に気づかず、患者さんが頭をぶつけそうになった。
	場面 02	呼び入れ時の声が小さく、患者さんが自分のことを呼ばれたと気づかず、順番が混乱した。
	場面 03	扉を開けたまま患者さんを案内し、前の準備物や室内の様子が外から見える状態になっていた。
	場面 04	患者さんの歩行が不安定だったので前を歩き、患者さんが一人で寝台へ向かっていた。
	場面 05	患者さんが杖を持っていたが、杖の置き場所を案内せず、寝台の近くに立てかけて倒れそうになった。
	場面 06	着替えが必要なのに案内が不十分で、患者さんが金属付きの肌着のまま検査室に戻ってきた。
	場面 07	ベッドの端に寄った状態で寝かせてしまい、患者さんが落ちそうな位置になっていた。
	場面 08	寝台の高さを調整せずに案内し、患者さんが足を高く上げて乗ろうとしてふらついた。
MRI	場面 01	問診票に未記入欄があるが、混んでいたため次へ進んだ。
	場面 02	閉所恐怖の確認をしないまま入室させようとし、患者さんが入口で強い不安を訴えた。
	場面 03	MRI室内に金属を持ち込めない理由を説明せず、患者さんが「少くらい大丈夫では」と言った。
	場面 04	MRI室の扉を開ける前に、患者さんの手荷物確認をしていなかったことに気づいた。
	場面 05	ペースメーカーの有無を確認せず、問診票のチェックだけで進めようとした。